

## 米国サウスサンフランシスコに 新たなバイオテクノロジー拠点を開設

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、カリフォルニア州サウスサンフランシスコに、米国西海岸のイノベーションと研究施設として統合されたバイオテクノロジー拠点を新設します。

敷地面積は 15 万 4,000 平方フィート(約 1 万 4,300 平方メートル)で、現在サンフランシスコ地域に散在している各機能を新設するバイオテクノロジー拠점에集約します。研究、製薬技術、開発、メディカル、営業および関連する管理部門の従業員が新拠点で勤務します。約 7,000 万米ドルを投資して新たに最先端の設備を導入し、治療選択肢が限られている希少疾患や癌で苦しむ患者さんを対象とした革新的な細胞医療と遺伝子治療の研究開発を前進させるため、将来的な規模拡大も可能とする研究室と共同作業スペースを提供します。

アステラス製薬の専務担当役員研究担当の志鷹義嗣 は、「米国西海岸のベイエリアに各機能を集約することにより、活気に満ちたサウスサンフランシスコにバイオテクノロジーの拠点を開設します。ボストン地区にあるアステラス製薬のバイオメディカルイノベーションハブと同様に、新拠点は細胞医療や遺伝子治療の研究・開発に携わる世界屈指の多彩なチームとのコラボレーションや、ビジネスチャンスの進展を促進し、患者さんの価値創造につながります」と述べています。

新拠点にはアステラス製薬が単独で入居する予定です。運用開始は 2023 年夏の予定です。今後 1 年をかけて、Astellas Gene Therapies、Xyphos Biosciences、事業開発部、Rx+事業創成部の米国西海岸で勤務する従業員とそれらの機能内で計画されている将来の規模拡大に対応するために、最先端の研究所やオフィススペース等を整備していく予定です。各機能を一つの場所に集約し、研究室とオフィスを統合することで、現在のそれぞれ独立した拠点と比較して、より効率的にスペースを活用することが可能になります。

アステラス製薬は「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの『価値』に変える」を VISION に掲げています。この VISION の下、アステラス製薬は、いまだ治療法のない病気で苦しむ患者さんへ革新的な細胞医療および遺伝子治療を届けるため、日々取り組んでいます。

本件によるアステラス製薬の業績への影響は、通期(2023年3月期)連結業績予想に織り込み済みです。

以上

#### **アステラス製薬株式会社について**

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+<sup>®</sup>)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

#### **Astellas Gene Therapies について**

Astellas Gene Therapies は、患者さんに革新的な価値をもたらす可能性のある遺伝子治療の Center of Excellence です。当社の遺伝子治療創薬エンジンは、革新的な科学、検証済みの AAV プラットフォーム、業界を牽引する製造能力を基盤としており、眼、中枢神経系、神経筋系の希少疾患に焦点を当てています。アステラス製薬の遺伝子治療プログラムを臨床試験に向けて推進しています。サンフランシスコ(米国カリフォルニア州)を拠点とし、サウスサンフランシスコ(米国カリフォルニア州)とサンフォード(米国ノースカロライナ州)に製造および研究施設を設けています。

#### **Xyphos Biosciences, Inc について**

Xyphos Biosciences, Inc.は、サウスサンフランシスコ(米国カリフォルニア州)を拠点とする、がん免疫における細胞医療の Center of Excellence です。患者さんの個々のニーズに合わせて容易に調整でき、複数の疾患に応用可能な、精密でオフザシェルフ(既製)の「標準的な医薬品と同様の細胞医療」プラットフォームを活用し、固形がんを治療するための医薬品を開発しています。がん生物学と腫瘍免疫微小環境に関する深い知見を活かし、免疫拒絶反応を回避しながら、身体の免疫細胞を単一または複数の腫瘍抗原を標的として強力な免疫反応を引き起こすことができる、柔軟かつ汎用性の高いプラットフォームを開発しています。ACCEL™ 技術、ユニバーサル CAR(キメラ抗原受容体)、およびユニバーサルドナー細胞(UDC)技術を組み合わせることにより、現在承認されている CAR 細胞療法と比較してより迅速かつ柔軟に、多くのがん患者さんに価値をもたらすことができる独自プラットフォームの構築を目指しています。

#### **注意事項**

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

**お問い合わせ先:**

アステラス製薬株式会社

コーポレートアドボカシー&リレーションズ部

TEL: 03-3244-3201